

自分だけは、 「捕まらないだろう」

飲酒で免許取り消し、500人

十勝・釧路・根室管内 2014～2018年

自分だけは、「捕まらないだろう」 多数

- 月別・・・5月が最も多い(5月、7月、11月、1月の順)
- 曜日・・・休日、週末が多い(日、土、金の順)

2019/05/13 05:00

飲酒運転中の事故や摘発で、免許取り消しになった人が、十勝・釧路・根室管内で2014～18年の5年間、500人に上ることが道警釧路方面本部の調べで分かった。取り消し処分を受けた人の多くが「捕まらないだろう」などと安易な理由でハンドルを握っており、一部のドライバーの意識の低さが浮き彫りになっている。

呼気1リットル当たり0.25ミリグラム以上のアルコールが検出された場合、違反歴がなくても免許が取り消され、2年間は再取得できない。

釧本によると、飲酒運転で免許取り消しとなった人数は、過去5年間で16年の121人が最多。17年は118人、18年は81人と減少傾向にあるが、飲酒運転の根絶にはほど遠いのが実情だ。

釧本が18年の81人に飲酒運転の理由を聞いたところ、全体の65%に当たる53人が「捕まらないだろう」と回答。「近くだから」が8人、「明日車を使用する」が7人と続いた。

一方、過去5年間の飲酒運転による人身事故件数は69件。死傷者数は79人(うち死者7人)で、人身事故件数が10件を下回った年はない。

人身事故の月別発生件数は、5月が10件と最も多く、7月と11月の8件、1月の7件と続いた。

曜日別では日曜が17件、土曜14件、金曜が11件で休日や週末が多くなっている。